

なぜベルギーのビール文化が ユネスコの無形文化遺産に 登録されたの？

ベルギーはドイツと並ぶビール大国です。ベルギー国内には200近い醸造所と1500以上の銘柄のビールが存在します。その歴史は古く、紀元前58年のカエサルの戦記にはすでにベルギー地方でビールが作られていたという記録があります。

そして、ベルギービールは中世の修道院でも醸造されるようになり、文化、産業、農作物の発展と結びつき、様々なホップやハーブ、果実を巧みに使った実に幅広い『多様性』を持ったビール文化を形成します。

また、ベルギービールのもうひとつの特徴は『独自性(オリジナリティ)』であり、ビールの銘柄毎にそれぞれ決まった専用グラス、専用コースターを醸造所が独自にデザインし製造しています。ボトルの形状やラベルの絵、ビールの名前なども実に様々で独創的なものが多く、ヨーロッパの文化と歴史が凝縮されています。



ベルギーのビール文化が
ユネスコの無形文化遺産に、
登録されました。

ベルギービールは クラフトビールの源流です。

いままで、日本国内でビールといえばピルスナータイプのビールだけでした。それが近年、クラフトビールの台頭によって日本人もやっと「ビールっていろいろな種類があるんだ」ということを知るようになりました。

上面発酵に下面発酵。ホワイトエールにトラピストビール、アピビール、ランビック等々。やっと日本でも様々な醸造家が現れ情熱的に多種多様なビールを造るようになりましたが、その源流でありお手本となっているのがベルギービールです。『ベルギービールを知らずしてビールを語ることはなけれ』



アメリカ、日本を初めてする各国のブルワリーがベルギービールの影響を受け、学び、研鑽しながら、また新たなビール文化を育てているのです。

ベルギーってどんな国？

ベルギーはヨーロッパの真ん中に位置し、面積は九州の70%ほどの国土に約1000万人が暮らす小国ながら、首都ブリュッセルにはEUの本部を擁し、フランス、ドイツ、オランダ、ルクセンブルグに面する交通と文化の要衝です。

歴史的にヨーロッパの大国に囲まれ、2つの民族と3つの言語を公用語とする複雑な国であるが故に、柔軟で多様性のある考え方や文化が発達しました。

この柔軟性と多様性はベルギービールのみならず、チョコレートやベルギーワッフルなどの食文化を生み、グランブラスでのフラワーカーペットなど実に美しい伝統や古典として息づいています。



ベルギービール ヒューガルデン ホワイト

大麦、小麦、ホップを使った上面発酵で醸造されるエールビールで、苦味は少なくコリアンダーやオレンジピールによるほんのりスパイシーでさわやかな飲み口が特徴。色は乳白色がかかった淡い黄色。